

(5) ビジョン・基本目標及び数値目標

○ビジョン

地域社会・地域経済を支える人材の育成・定着及びその人材が活躍する場を形成する

○「(1)現状と課題」で述べた課題に対応するため、次の基本目標を設定する。

I 大学等間の連携や大学等と県内高校等との連携の強化を図ることにより、教育力向上及び研究を促進するとともに、県内高校生等に対して大学等の魅力を発信し、自県大学進学者の割合を増加させるとともに、県内大学等の入学者を維持する。

【取り組み】：①高大連携・進学推進事業

②大学等連携強化事業

II 地域企業がもつ魅力を発信し、県内大学生等の県内就職を促進する。

【取り組み】：①キャリア支援事業

②地域企業魅力発信強化事業

III 産学官の連携を促進する事業等を推進し、学生等が未知にチャレンジし、地域社会・経済の活性化を図る。

【取り組み】：①地域活性化実践事業

○総合的な達成度を測る目標指標を次のとおり設定する。

指標名	基準値 (2023年度)	目標値 (2028年度)	目標値設定の考え方
自県大学進学者の割合	17.4%	21.0%	2023年度の自県大学進学者の割合17.4%を基準として、2028年度の目標設定を21.0%とする。
県内大学卒業生の 県内就職率	42.2%	52.0%	2023年3月に卒業した県内大学・短大・高専生の県内就職率42.2%を基準として、2028年度の目標設定を52.0%とする。
学生等主体の新規事業数	4件 (累計)	10件 (累計)	2023年度までの新規事業数4件(累計)を基準として、2028年度の目標設定は10件(累計)とする。

(6) 評価体制・評価時期・評価の反映方法

- ・評価体制：運営委員会において、活動指標に対する実績に基づく評価を行う。
- ・評価時期：原則として、事業年度終了の翌年度第2四半期末までに行うものとする。
- ・評価の反映方法：運営委員会における翌年度の事業計画策定時、前年度の評価及び意見を反映させることとする。

大学・地域共創プラットフォーム香川規約の一部改正について（案）

このことについて、下記の理由により、別添のとおり一部改正を提案する。

記

一部改正の理由

規約第12条第1項第1号の運営委員会が行う事項として、以下の新旧対照表のとおり、中長期計画の評価に関することを追加する。

大学・地域共創プラットフォーム香川規約新旧対照表

新	旧（現行）
（略） （運営委員会） 第12条 プラットフォームに、次の各号に係る事項を行わせるため運営委員会を設置する。 （1）中長期計画の企画・立案・評価に関すること （2）事業計画の企画・立案に関すること （3）予算の企画・立案に関すること （4）部会の設置・廃止の検討に関すること （5）プラットフォームの会費の検討に関すること （6）その他プラットフォームの事業実施にあたっての検討及び企画調整に関すること （略） <u>附則</u> <u>この規約は、令和6年 月 日から施行する。</u>	（略） （運営委員会） 第12条 プラットフォームに、次の各号に係る事項を行わせるため運営委員会を設置する。 （1）中長期計画の企画・立案に関すること （2）事業計画の企画・立案に関すること （3）予算の企画・立案に関すること （4）部会の設置・廃止の検討に関すること （5）プラットフォームの会費の検討に関すること （6）その他プラットフォームの事業実施にあたっての検討及び企画調整に関すること （略）

令和6年度 保護者対象のキャリアデザイン研修事業
(第2回 県内大学・短大合同進学説明会実施要項(案))

令和6年8月1日

1 目的

- ① 県内大学・短大関係者等からの高校時代に身に付けておくべき資質・能力、将来の進路選択等に関するアドバイスにより、高校生活の充実や高校生の望ましいキャリア形成に繋げる。
- ② 県内大学・短大の魅力、改革の取り組み、卒業後の進路、就職サポートなどの情報とともに、県内企業の魅力、キャリアアップ支援などの情報を保護者に提供し、高校生の望ましい進路実現に繋げる。

2 主催

大学・地域共創プラットフォーム香川

<主幹 高松大学(香川県高等学校PTA連合会とタイアップ)>

3 参加予定大学・短大

- ・ 香川大学 ・ 県立保健医療大学 ・ 四国学院大学 ・ 高松大学 ・ 徳島文理大学
- ・ 香川短期大学 ・ せとうち観光専門職短期大学 ・ 高松短期大学

4 参加予定団体等(案)

- ・ 香川県商工会議所連合会 ・ 香川県中小企業団体中央会 (・ 株式会社帝国データバンク)

5 事業概要

(1) 開催日時 令和6年11月9日(土) 13:00 ~16:15

(2) 開催場所 かがわ国際会議場(収容人数394人)

(3) 申込方法 保護者本人がWebで高P連に直接申込

(4) 進行要領:(司会進行)高P連理事

① 高P連会長の開会挨拶(3分)

② 進学講演会(30分):高松高等予備校 エグゼクティブディレクター 山本達也氏

【演題】「これからの進路選択を考える」~お子さまの未来のために~

【内容】

- ・ 日本の将来の社会において、どのような力を持った人材が求められているか。
- ・ 大学・短大・専門学校の教育環境や就職環境はどのように変化しているか。
- ・ 進路決定を支えるための保護者の役割や心構え

③ 産業団体等から県内企業の魅力等の説明(45分程度)

- ・ 1団体15分程度で、県内企業の状況や魅力等をPR。

※ 並行してエントランスロビー等で企業等紹介のポスターセッションを実施予定。

(10分休憩)

④ 各大学・短大による説明(1時間30分程度)

- ・ 各校10分程度の持ち時間で学校紹介等をプレゼンテーション。
- ・ 質疑応答に代え、共通の質問項目について回答。

(質問項目)

- ・ 貴学における教育改革や進化のための取り組み、アピールポイントは。
- ・ 貴学ではどのような力が身につく、将来どのように役立てることができるのか。

※ プレゼン前後の時間に6F控室や7Fビジネスルームで全大学が個別相談会を実施。

⑤ 高P連会長の閉会挨拶(3分)

(5) その他

- ・ ライブ配信は株式会社ビットコミュニケーションズに委託。

外国人留学生対象の

香川県内大学合同進学説明会 in TAKAMATSU SAKAIDE



① せとうち観光専門職短期大学

◎観光振興学科

・観光地域創生クラス・航空クラス・鉄道クラス・宿泊クラス
目ざせる職種

観光関連団体／NPO等の職員／観光施設のスタッフ

航空旅客スタッフ／鉄道会社スタッフ／ホテルスタッフ

ツアープランナー／旅行会社スタッフ／伝統産業のスタッフ

観光ガイド／起業など

③ 徳島文理大学

◎香川薬学部

〔薬剤師／毒物劇物取扱責任者／食品衛生管理者

特別管理産業廃棄物管理責任者（感染性産業廃棄物）など〕

◎保健福祉学部

・診療放射線学科・臨床工学科

〔診療放射線技師／第1種・第2種放射線取扱主任者

臨床工学技士第1種・第2種ME技術者など〕

◎理工学部

・ナノ物質工学科・機械創造工学科・電子情報工学科

〔高等学校教諭／中学校教諭／甲種危険物取扱者など〕

◎文学部

・文化財学科・日本文学科・英語英米文化学科

〔高等学校教諭／中学校教諭／司書教諭／学芸員など〕

② 高松大学

◎発達科学部 子ども発達学科

・コース（児童教育、幼児教育、特別支援教育、子どもビジネス）

〔小学校教諭／幼稚園教諭（一種）／保育士／特別支援学校教諭など〕

◎経営学部 経営学科

・コース（企業経営、経営情報、会計、スポーツ経営）

〔高等学校教諭（商業）（情報）／上級ビジネス実務士

上級情報処理士／スポーツリーダーなど〕

高松短期大学

◎保育学科

〔保育士／幼稚園教諭（二種）〕

◎ビジネスデザイン学科

・コース（総合ビジネス、医療事務、グローバルビジネス、ヒューマンIT）

〔上級秘書士／上級秘書士（メディカル秘書）／秘書士

上級ビジネス実務士／上級ビジネス実務士（国際ビジネス）など〕

④ 香川短期大学

◎食物栄養学科＜新学科名称＞

・栄養管理コース ・ 食品栄養コース

〔栄養士、フードスペシャリスト、フードサイエンティストなど〕

◎子ども学科第Ⅰ部〔保育士資格、幼稚園教諭二種免許状など〕

◎子ども学科第Ⅲ部〔保育士資格、幼稚園教諭二種免許状など〕

◎経営情報・デザイン学科＜新学科名称＞

・情報ビジネスコース

〔司書、簿記、PC、Web制作、ドローン操縦資格など〕

・デザインアートコース

〔CG、マンガ・アニメ、Webデザイン、ドローン操縦資格など〕

⑤ 四国学院大学

◎文学部人文学科（日本語・日本文学、哲学・キリスト教

歴史学・地理学、英語・英米文学、平和学、学校教育、科学教育

◎社会福祉学部社会福祉学科（社会福祉学、心理学・カウンセリング

地域社会と福祉実践、精神保健と福祉、子ども福祉、

スクールソーシャルワーク）

◎社会学部カルチュラル・マネジメント学科（社会学、

メディア&サブカルチャー研究、観光学、身体表現と舞台芸術、

舞台技術・公演、アーツ・マネジメント、演劇ワークショップ実践、

国際文化マネジメント、経営と情報加工、ベースボール科学、

健康・スポーツ科学、アスリート科学）

急速な少子化が進行する中での将来社会を見据えた高等教育の在り方について(中間まとめ)概要①

中央教育審議会大学分科会高等教育の在り方に関する特別部会(令和6年8月8日)

参考資料 4

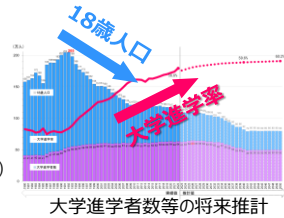
1. 高等教育を取り巻く状況

我が国における急速な少子化をはじめ、新型コロナウイルス感染症のまん延を契機とした遠隔教育の普及や生成AIの台頭、研究力の低下、国際情勢の不安定化等高等教育を取り巻く状況は大きく変化

(1) 近年の社会を取り巻く変化

① 急速な少子化の進行

- 18歳人口の大幅な減少
約249万人→約110万人→約82万人
(1966) (2023) (2040,推計)
- 大学進学率の上昇
約29万人→約63万人→約51万人
(1966) (2023) (2040,推計)



② 生産年齢人口の減少に伴う労働供給の不足

- 世界経済の変動
- 生産年齢人口の減少

③ DX・GX等の進展に伴う人材需要の変化

- DX・GXの進行やAI、バイオ、半導体等の専門人材の需要増、求められる能力の変化



④ 地方創生の現状

- 人口減少、東京圏への一極集中
- 23区定員規制

(2) 近年の高等教育を取り巻く変化

① 初等中等教育段階の学びの変化

- 「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実
- GIGAスクール構想：1人1台端末・高速通信ネットワーク環境整備
- 探究学習の充実

② 進学率における地域間格差

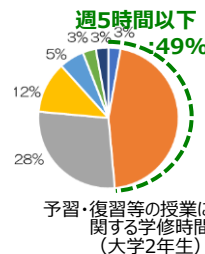
- 大学進学率の男女差や高等教育進学率における、都道府県格差
- 収容率と大学進学率、専攻分野別分布、地方私大の定員未充足傾向、出身地域別の進学先地域

③ 依然として短い学生の学修時間

- 授業以外の学修時間が短い：週5時間以下が49%(大学2年生)

④ 国際的な学生等の流動性の拡大と留学生獲得競争の激化

- 日本の若者の内向き志向(経済的問題、語学力不足等)
- 低い外国人留学生割合：学士約3%(OECD平均：約5%)



⑤ リカレント教育・リスキリングの必要性の高まり

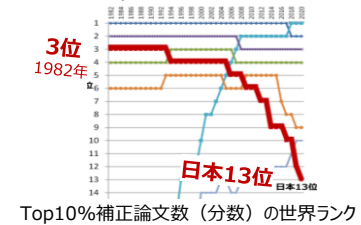
- 社外学習・自己啓発：行っていない人は半数を超える

⑥ 障害のある学生の増加

- 大学等での合理的配慮の義務化
- 障害のある学生：10年間で4倍増

⑦ 我が国の研究力の低下

- 被引用数の高い論文数の順位低下
- ：研究時間割合の低下、博士課程在籍者数の減少、研究実施費用の減少等



⑧ 高等教育のデジタル化の進展

- コロナ禍を経て遠隔授業実施大学の割合が増加：28.1%→70.1%
(2017年度) (2021年度)

(3) これまでの高等教育政策

① 「量」に関する政策

- ア. 量的拡大に対する計画と規制
- イ. 設置認可における規制の緩和
- ウ. 「計画と規制」から「将来像の提示と政策誘導」へ
- エ. 定員未充足や定員超過への対応強化等

② 「質」に関する政策

- ア. 大学設置基準の大綱化
- イ. 質保証システムの構築
- ウ. 学修者本位の教育への転換
- エ. 大学院教育の改善

③ 修学支援に関する政策

- ・無利子・貸与型で開始
- ・有利子、給付型、修学支援新制度の導入

④ 大学運営に関する政策

- ア. 大学のガバナンス改革の推進
- イ. 大学における財務構造の変容

⑤ 今後に向けて

- ・全体の規模の適正化や、高等教育機関間の連携、再編・統合等の取組の必要性
- ・地方の高等教育機関が果たす多面的な役割も考慮したアクセス確保の重要性

2. 今後の高等教育の目指すべき姿

(1) 我が国の「知の総和」の維持・向上

我が国において未来を担う若者が新しい価値を創造し、人類が直面する課題の解決に貢献するとともに、地域社会の持続的な発展を担っていくためにも、「知の総和」(数×能力)を維持・向上することが必須

高等教育機関は、未来を担う人材の育成や、社会の新たな価値の創出に欠かせない役割を果たしており、教育と研究の機能をこれまで以上に強化することによって社会に貢献しながら、「知の総和」を維持・向上する中心的な役割を果たす

(2) 高等教育政策の目的

「**質**」:教育研究の質の向上

「**規模**」:社会的に適切な規模の高等教育機会の供給

「**アクセス**」:地理的又は社会経済的な観点からのアクセス確保による高等教育の機会均等の実現

→3つの目的を、バランスよく、かつ効果的に達成するための制度及び資源配分の在り方を検討することが重要

(3) 重視すべき観点

以下に示す観点も踏まえ、教育研究体制の充実、高等教育を支える基盤の強化や高等教育機関あるいはそれ以外の機関との接続・連携等を図っていくことが必要

- ①新たな時代に対応した教育内容の改善(文理横断・文理融合教育の推進／成長分野を創出・けん引する人材の育成)
- ②流動性に支えられた多様性の確保(学生や教員等の多様性・流動性の確保／高等教育機関の多様性の確保)
- ③高等教育の国際化の推進
- ④国際競争の中での研究力の強化
- ⑤学生への経済的支援の充実
- ⑥デジタル化の推進(教学面:VRやARを活用した新しい学修体験 経営面:DXによる生産性向上)
- ⑦高等教育機関の運営基盤の確立(ガバナンス改革、自主性・自律性の向上、人的・物的両面での環境整備)
- ⑧高等教育機関を取り巻く組織・環境との接続の強化
(初等中等教育との接続の強化／社会との接続及び連携の強化／地域との連携の推進)

3. 今後の高等教育政策の方向性と具体的方策

(1) 教育研究の「質」の更なる高度化

「知識基盤社会」においては、学生一人一人の能力を最大限高めることが必要

①学修者本位の教育の更なる推進

- ・教育内容・方法の改善
- ・遠隔・オンライン教育の推進
- ・「出口における質保証」の促進(厳格な成績評価や卒業認定の促進等)
- ・認証評価制度の見直し

②外国人留学生や社会人をはじめとした多様な学生の受入れ促進

- ・多面的・総合的な入試の推進・転編入学等の柔軟化
- ・外国人留学生の受入れ、日本人学生の派遣の推進等
- ・社会人の受入れ促進・障害のある学生への支援
- ・高等教育機関と産業界・地方公共団体等との組織レベルでの連携推進
- ・通信教育課程の質の維持向上
- ・キャンパスのダイバーシティを支える環境整備

③大学院教育の改革

- ・質の高い大学院教育の推進
- ・修士号・博士号取得者数の増加に向けた取組推進
- ・学士課程から博士課程までの教育課程の体系化と連続性の確保
- ・多様な学生・教員の受入れ促進

④情報公表の推進

- ・情報公表の更なる促進(高等教育機関間の多様な比較分析が可能となる情報の可視化等)

(2) 高等教育全体の「規模」の適正化

学生数の不足等からの経営悪化による、教育研究の「質」低下の回避等のために「規模」の適正化が必要

①18歳で入学する日本人学生以外の受入れ拡大

- ・外国人留学生や社会人の受入れの更なる促進
- ・遠隔教育やオンライン授業等の進展を踏まえた取組の推進

②高等教育全体の規模の適正化に向けた支援

- ・厳格な設置認可審査の実施等(学校法人の寄附行為(変更)認可審査における財務基準や定員未充足が生じた場合の対応方針(リスクシナリオ)等の審査の在り方の見直し等)
- ・意欲的な教育・経営改革を行うための支援(改革やチャレンジに取り組む大学への支援強化等)
- ・高等教育機関間の連携の推進(地域連携プラットフォームや大学等連携推進法人制度の更なる活用促進)
- ・再編・統合の推進(一定の条件を満たす場合に一時的に減少させた定員を一部又は全部戻すことを容易にする仕組みの創設等)
- ・縮小・撤退への支援(学校法人が解散する場合等における学生保護の仕組みの構築や残余財産の帰属の要件緩和等)

(3) 高等教育への「アクセス」確保

「規模」の適正化を図りつつ、地域における「質」の高い高等教育の機会の確保が必要

①地理的観点からのアクセス確保

- ・地域の高等教育機関や地方公共団体、産業界などの各地域の関係者が、地域の人材育成の在り方について議論を行う場の構築(地域における志願動向や人材需要の情報収集・整理、各高等教育機関における連携・再編等の計画策定支援や各計画の実行を支援するための仕組みの構築等)
- ・各高等教育機関や地域において検討を促すための仕組みの整備(コーディネーターとなる人材の育成・配置、地方公共団体における高等教育振興担当部署の整備、国における司令塔機能を果たすための組織体制の充実・強化等)

②社会経済的観点からのアクセス確保

- ・入学前からの取組促進(経済的負担軽減に関する早期からの幅広い情報提供の促進等)

4. 機関別・設置者別の役割や連携の在り方

(1) 機関別の役割

学校種ごとに制度目的や修業年限等に違いがあり、それぞれの特色に応じた多様な高等教育が展開

①大学	学術の中心として、高い教養と専門的能力を培うとともに、深く真理を探究して新たな知見を創造し、これらの成果を広く社会に提供することにより、社会の発展に寄与する役割
②専門職大学・専門職短期大学	高度な実践力と豊かな創造力を備えた専門職業人を育成する役割
③大学院・専門職大学院	学術の理論と応用を教授研究し、その深奥をきわめ、又は高度の専門性が求められる職業を担うための深い学識と卓越した能力を培い、文化の進展に寄与する役割(専門職大学院は高度専門職業人の養成が目的)
④短期大学	深く専門の学芸を教授研究し、職業や实际生活に必要な能力を有する専門職業人材を育成する役割
⑤高等専門学校	理論だけでなく実験・実習に重点をおいた5年一貫の技術者教育を行う高等教育機関として、実践的・創造的な技術者を養成する役割
⑥専門学校	社会や産業のニーズに即応しつつ多様な教育を柔軟に展開し、実践的な職業教育を行う機関であり、社会基盤を支えるために必要な人材を育成する役割

(2) 設置者別の役割

設置者別の役割や機能を踏まえつつ、各大学のミッションを見つめ直し、時代の変化に応じて刷新し、自らの行く末を定めていく必要

①国立大学	世界最高水準の研究・教育の実施や先導的・実験的な教育・研究の実施、社会・経済的な観点からの需要は必ずしも多くはないが重要な学問分野の継承・発展、そして、全国的な高等教育の機会均等の確保
②公立大学	地方公共団体の規模や地域の実態、それぞれの設置目的に応じて、今後、当該地方公共団体が講じる各種政策の実現に向けた人材の受入れ・養成、各地域の社会・経済・文化の向上発展への貢献から国際社会への貢献まで幅広く含めた教育・研究の推進とともに、地域の高等教育へのアクセス確保、地域活性化の推進、行政課題の解決
③私立大学	それぞれの建学の精神に基づきながら、多様性に富むとともに、独創的な教育研究の推進、幅広い年齢層に及ぶ社会の中核となる人材の教育機会の保障や国民の知的水準の向上、大学の独自性に沿った知識・技術の創造拠点の形成

5. 高等教育改革を支える支援方策の在り方

質の高い高等教育を実現するための高等教育の財務構造について、以下のような観点から引き続き議論

- ①機関補助と個人支援のそれぞれの特徴を踏まえた公財政支援の在り方や、基盤的経費助成と競争的資源配分による支援の在り方
- ②高等教育の社会的・私的便益を踏まえた授業料等を含む個人・保護者負担の在り方
- ③企業等からの寄附金や社会からの投資の拡大等多様な資金調達を通じた経営基盤の確立・強化の方策

急速な少子化が進行する中での将来社会を見据えた

高等教育の在り方について（諮問）（令和5年9月25日 中央教育審議会）【概要】

1. 高等教育の在り方を検討する背景・必要性

急速な少子化

- ・**18歳人口は大幅に減少**（1966年：約249万人（最高値）→2022年：約112万人）
- ・**大学進学者は増加**（1966年：約29万人→2022年：約64万人（最高値））
- ・2022年の出生数は77万759人（統計開始以来最少）

→大学進学率の伸びを加味しても、**2040年の大学入学者数は約51万人**、
2050年までの10年間は50万人前後で推移と推計

グランドデザイン答申以降の高等教育を取り巻く変化

- ・コロナ禍を契機とした**遠隔教育の普及**
- ・**国際情勢の不安定化、世界経済の停滞**
- ・我が国の**研究力の低下**
- ・**学修者本位の教育への転換**など高等教育の質を高める取組の推進
- ・**研究力強化策**の推進（国際卓越研究大学制度等）
- ・**初等中等教育段階の学びの変化**（ICT環境整備、問題発見・課題解決的な学習活動の充実等）
- ・**修学支援新制度**の導入、**低所得者世帯の高等教育進学率**の上昇等

一人一人の実りある生涯と我が国社会の持続的な成長・発展を実現し、人類社会の調和ある発展に貢献するため、
人材育成と知的創造活動の中核である高等教育機関の役割が一層重要化。学生が文理横断的に知識、スキル、態度、価値観を身に付け、
真に人が果たすべき役割を実行できる人材を育成することが必要。**リカレント教育**も重要。こうした人材育成が**個人・社会のWell-beingの実現**にも貢献。

2. 主な検討事項

（1）2040年以降の社会を見据えた高等教育が目指すべき姿

- ・**グランドデザイン答申**で示された高等教育の目指すべき姿を前提としつつ、同答申以降の社会的、経済的変化を踏まえ、**これからの時代を担う人材に必要とされる資質・能力の育成**に向け、高等教育機関に関して今後更に取り組むべき具体的方策について検討。
- ・その際、**成長分野をけん引する人材の育成**や**大学院教育の改革等**の重要性にも留意。



各国立大学のミ
ッションの多様化
や、学部再編等
支援といった動
きも

（2）今後の高等教育全体の適正な規模を視野に入れた地域における質の高い高等教育へのアクセス確保の在り方

- ・2040年以降の我が国の**大学入学者数の減少**や、**地域ごとの高等教育機関を取り巻く状況の違い**等を踏まえ、今後の**高等教育全体の適正な規模**も視野に入れながら、**高等教育へのアクセス確保の在り方**を検討。
- ・特に、学部構成や教育課程の見直しなど**教育研究の充実**や**高等教育機関間の連携強化、再編・統合等の促進、情報公表等**の方策を検討。
- ・その際、地方の高等教育機関が果たす**多面的な役割**も十分考慮。

（3）国公私の設置者別等の役割分担の在り方

高等教育全体の目指すべき姿の議論においては設置者・機関別の観点も必要。

- ・**国立**：世界最高水準の教育研究の先導や学問分野の継承・発展等
- ・**公立**：地域活性化の推進や行政課題の解決への貢献等
- ・**私立**：高等教育の中核基盤として、専門人材の輩出や多様性確保等
- ・**短大**は地方の進学機会を確保。**高専**は実践的・創造的な技術者の、**専門職大学**は専門職業人の、**専門学校**は地域産業を担う専門人材の輩出に貢献。

こうした期待や変化等を踏まえ、急速な少子化の中での、**設置者別・機関別等の役割分担の在り方**や**果たすべき役割・機能**、その**実現方策**を検討。

（4）高等教育の改革を支える支援方策の在り方

- ・検討事項（1）～（3）等を踏まえ、**教育研究を支える基盤的経費や競争的研究費等の充実**、**民間からの投資を含めた多様な財源の確保**の観点も含めた、**今後の高等教育機関や学生への支援方策の在り方等**について検討。

第12期中央教育審議会大学分科会高等教育の在り方に関する特別部会

審議の状況

○中央教育審議会総会（令和5年9月25日）

「急速な少子化が進行する中での将来社会を見据えた高等教育の在り方について」
文部科学大臣より諮問

○第1回（令和5年11月29日）

- ・今後の高等教育が目指すべき姿に関する意見発表
 - 「大学進学率60%時代の高等教育を考えるために」
（濱中国立教育政策研究所高等教育研究部長）
 - 「急速な少子化の進行と高等教育の未来」 （吉見委員）

○第2回（令和6年1月26日）

- 「大学間連携による教育・研究強化が拓く就学の機会」 （松塚委員）
- 「大学への期待－労働研究の立場から－」 （堀委員）

○第3回（令和6年2月27日）

- 「社会環境の変化と大学教育への期待～高大社接続の視点から～」 （小林委員）
- 「地方における高等教育へのアクセスをいかに維持するのか
－地方小規模大学からの提言－」 （大森委員）

○第4回（令和6年3月27日）

- 「大学教育の多様化に向けて」 （伊藤委員）
- 「少子化の急速な進行と高等教育の在り方」 （両角委員）

○第5回（令和6年4月26日）

- 「地域における大学の在り方について-地方大学の役割・使命について-」（中村委員）
- 「地方大学におけるアクセスと人流」 （濱田委員）
- 「高等教育へのアクセスの在り方を考える-地域による進学先の違いに着目して-」（朴澤国立教育政策研究所高等教育研究部総括研究官）

○第6回（令和6年5月31日）

- 「大学通信教育の規模とアクセスと質」 （高橋私立大学通信教育協会理事長）
- 「高等教育の在り方とデジタル改革」
（井上慶應義塾大学特任教授、日本工学教育協会理事）
- 「多様な価値観が集まるキャンパスの実現-短期大学の機能の再構築-」（大野委員）

○第7回（令和6年6月28日）

- ・中間まとめ（案）について

○第8回（令和6年7月19日）

- ・中間まとめ（案）について

※大学分科会と合同開催

※令和6年度中に一定の結論を得る予定

諮問事項

- （1）2040年以降の社会を見据えた高等教育が目指すべき姿
- （2）今後の高等教育全体の適正な規模を視野に入れた地域における質の高い高等教育へのアクセス確保の在り方
- （3）国公私の設置者別等の役割分担の在り方
- （4）高等教育の改革を支える支援方策の在り方

委員

（委員）2名

- ◎永田 恭介 筑波大学長
- 吉岡 知哉 独立行政法人日本学生支援機構理事長

（臨時委員）12名

- 伊藤 公平 慶應義塾長
- 大野 博之 国際学院埼玉短期大学理事長・学長
- ◎大森 昭生 共愛学園前橋国際大学・短期大学部学長
- 小林 浩 リクルート進学総研所長・カレッジマネジメント編集長
- 中村 和彦 山梨大学長
- 濱田 州博 公立諏訪東京理科大学長
- 平子 裕志 ANAホールディングス株式会社特別顧問
- 堀 有喜衣 独立行政法人労働政策研究・研修機構人材開発部門統括研究員
- 益戸 正樹 UiPath株式会社特別顧問、株式会社肥後銀行特別参与
- 松塚 ゆかり 一橋大学森有礼高等教育国際流動化機構教授
- 両角 亜希子 東京大学大学院教育学研究科教授
- 吉見 俊哉 國學院大学観光まちづくり学部教授

計14名（令和6年4月1日現在）

◎部会長 ○副部会長 （五十音順・敬称略）

にほんご はな いぶん か こうりゅう かい
日本語で話そう異文化交流会
Let's talk in Japanese and exchange cultures

けんないだい がくとう りゅうがくせいだいいしやう
県内大学等の留学生対象

参考資料 5

うたづ**DE**国際交流

● **2024.10/20** 香川短期大学大学祭同時開催
(日) AM10:00~

● **香川短期大学ラーニングコモンズ** (本館1F)



【交流会プログラム】

10:00 ~

◇ 母国紹介 (バナー展示)

◇ 香川短大おもてなしタイム
~見て、さわって、体験して交流~

- ・AI人型ロボットPepper (ペッパーくん)
- ・eスポーツ・ドローン (drone) の体験

◇ 日本語で茶話会

12:00 ~ 学祭バザー券 (1000 円をプレゼント)
で昼食

大学祭見学後自由解散



10/20 (日)

日本語で話そう異文化交流会
事前申込フォーム
Let's talk in
Japanese and
exchange cultures



主催 / 大学・地域共創プラットフォーム香川 進学・教育部会
問い合わせ / 各大学の「大学・地域共創プラットフォーム香川」進学・教育部会委員まで



報告

【2024年度】香川県内大学・短期大学・高等専門学校 のオープンキャンパスを開催しました

2024.09.04

今年度開催済みのオープンキャンパスの様子をご紹介します。

💡 今後のオープンキャンパス日程はこちらをチェック

【2024年度】香川県内大学・短期大学・高等専門学校がオープンキャンパスを開催します

目次

01. 香川県立保健医療大学
02. 香川大学
03. 香川高等専門学校
04. 香川短期大学
05. 四国学院大学
06. せとうち観光専門職短期大学
07. 高松大学・高松短期大学
08. 徳島文理大学

香川県立保健医療大学

大学・地域共創プラットフォーム香川



令和4年3月28日設立

オール香川の産官学で取り組む

- 人づくり・地域づくり -



■住所

香川県高松市牟礼町原281-1

■学部・学科

保健医療学部看護学科、保健医療学部臨床検査学科

参考資料 6



大学・地域共創プラットフォーム香川



令和4年3月28日設立

オール香川の産官学で取り組む

- 人づくり・地域づくり -



■住所

幸町キャンパス：香川県高松市幸町1-1

林町キャンパス：香川県高松市林町2217-20

三木町医学部キャンパス：香川県木田郡三木町池戸1750-1

三木町農学部キャンパス：香川県木田郡三木町池戸2393

■学部

教育学部、法学部、経済学部、医学部、農学部、創造工学部

[学校HP/入試情報はこちら](#)

香川高等専門学校

大学・地域共創プラットフォーム香川

令和4年3月28日設立

オール香川の産官学で取り組む

- 人づくり・地域づくり -



■住所

高松キャンパス：香川県高松市勅使町355

詫間キャンパス：香川県三豊市詫間町香田551

■学部・学科

機械工学科、電気情報工学科、機械電子工学科、建設環境工学科、通信ネットワーク工学

大学・地域共創プラットフォーム香川

令和4年3月28日設立

オール香川の産官学で取り組む

- 人づくり・地域づくり -



香川短期大学



大学・地域共創プラットフォーム香川



令和4年3月28日設立

オール香川の産官学で取り組む

- 人づくり・地域づくり -



■住所

香川県綾歌郡宇多津町浜1-10

■学部・学科

生活文化学科、子ども学科第Ⅰ部、子ども学科第Ⅲ部、経営情報科

[学校HP/入試情報はこちら](#)

四国学院大学

大学・地域共創プラットフォーム香川



令和4年3月28日設立

オール香川の産官学で取り組む

- 人づくり・地域づくり -



■住所

香川県善通寺市文京町3-2-1

■学部・学科

文学部、社会福祉学部、社会学部

大学・地域共創プラットフォーム香川



令和4年3月28日設立

オール香川の産官学で取り組む

- 人づくり・地域づくり -

大学・地域共創プラットフォーム香川



大学・地域共創プラットフォーム香川



令和4年3月28日設立

オール香川の産官学で取り組む

- 人づくり・地域づくり -



■住所

香川県高松市屋島西町2366-1

■学部・学科

観光振興学科

[学校HP/入試情報はこちら](#)

高松大学・高松短期大学

大学・地域共創プラットフォーム香川



令和4年3月28日設立

オール香川の産官学で取り組む

- 人づくり・地域づくり -



高松大学



高松大学

大学・地域共創プラットフォーム香川



令和4年3月28日設立

オール香川の産官学で取り組む

- 人づくり・地域づくり -



高松短期大学



高松短期大学

■住所

香川県高松市春日町960

大学・地域共創プラットフォーム香川

令和4年3月28日設立

オール香川の産官学で取り組む

- 人づくり・地域づくり -



徳島文理大学



サンポート高松 シンボルタワー タワー棟 かがわ国際会議場にて

大学・地域共創プラットフォーム香川



令和4年3月28日設立

オール香川の産官学で取り組む

- 人づくり・地域づくり -



サンポート高松 シンボルタワー ホール棟 展示場にて

■住所

(2025年3月まで)

香川キャンパス：香川県さぬき市志度1314-1

(2025年4月以降)

高松駅キャンパス：香川県高松市浜ノ町9-1

■学部・学科

香川薬学部、保健福祉学部(診療放射線学科、臨床工学科)、理工学部、文学部、総合政策学部(経営学科)

[学校HP/入試情報はこちら](#)

過去の一覧

大学・地域共創プラットフォーム香川(事務局)

〒760-8521 香川県高松市幸町1-1 研究交流棟 6 階

香川大学 地域・産官学連携戦略室内

TEL. : 087-832-1368 FAX : 087-832-1357

E-mail : platform-kagawa-h@kagawa-u.ac.jp

大学・地域共創プラットフォーム香川

令和4年3月28日設立

オール香川の産官学で取り組む
- 人づくり・地域づくり -



県内大学等9校の
魅力・情報がまる分かり！

かがわ キャンパス ガイド web

香川県内の大学・短期大学・高専の

概要や魅力、役立つ情報を集約！

意外と知らない県内の大学や学部・学科を知り、

香川で学び、香川で働く未来を考えてみませんか？



ニニカ〜
チエツ？！

1. 県内の各学校の基本情報

どんな学校や学部・学科があるのか、ぜんぶ分かる

2. 各学校の特色や取組み

キャリア支援や施設・設備などを紹介

3. 学校別先輩インタビュー

現役の先輩や県内に就職した卒業生の生の声

4. 学部別の卒業後進路調査

就職先の業種の最新データを掲載

5. 県や各学校の奨学制度一覧

独自の奨学制度の概要を見やすく掲載

6. 取得可能な資格や目指す職種例

自分のなりたい！から、行きたい学校が分かる！



かがわキャンパスガイド-web-

<https://chiiki-pf.kagawa-u.ac.jp/kagawacampusguide/>

お問い合わせ先

大学・地域共創プラットフォーム香川 (香川県政策部地域活力推進課)

TEL:087-832-3105

FAX:087-831-1165

香川県内大学・短期大学・高等専門学校

オープン キャンパス

詳細はここからチェック!



県内大学等9校の日程をご紹介します!



香川大学



香川県立保健医療大学



四国学院大学



高松大学・高松短期大学



徳島文理大学香川キャンパス



香川短期大学



せとうち観光専門職短期大学



香川高等専門学校

2024年

7月

- 20日 **土** 高松大学・高松短期大学
- 21日 **日** 香川短期大学
四国学院大学
せとうち観光専門職短期大学
- 28日 **日** 香川県保健医療大学

8月

- 4日 **日** 徳島文理大学(高松駅キャンパス)
せとうち観光専門職短期大学
- 6日 **火** 香川大学(医学部_看護学科)
- 7日 **水** 香川大学(教育学部、法学部、経済学部、医学部(医学科・臨床心理学科)、創造工学部、農学部)
- 10日 **土** 香川高等専門学校(詫間キャンパス)
四国学院大学
- 11日 **日** 香川高等専門学校(詫間キャンパス)
- 17日 **土** 香川高等専門学校(高松キャンパス)
高松大学・高松短期大学
- 18日 **日** 香川高等専門学校(高松キャンパス)
せとうち観光専門職短期大学
- 20日 **火** 香川短期大学(オンライン)
- 24日 **土** 香川短期大学
徳島文理大学(高松駅キャンパス)
- 25日 **日** 四国学院大学
- 27日 **火** 香川短期大学(オンライン)

9月

- 14日 **土** 高松大学・高松短期大学
- 21日 **土** 四国学院大学
せとうち観光専門職短期大学
- 22日 **日祝** 徳島文理大学(高松駅キャンパス)

10月

- 13日 **日** 四国学院大学
- 14日 **月祝** せとうち観光専門職短期大学

11月

- 2日 **土** 香川高等専門学校(高松キャンパス・詫間キャンパス)
- 3日 **日祝** 香川高等専門学校(高松キャンパス・詫間キャンパス)
- 17日 **日** 四国学院大学

12月

- 8日 **日** 四国学院大学
- 21日 **土** 香川短期大学

2025年

1月

- 26日 **日** 四国学院大学

2月

- 16日 **日** 四国学院大学

3月

- 23日 **日** せとうち観光専門職短期大学
- 24日 **月** 香川短期大学

日程については今後変更することがあります。必ず、各大学等の告知・募集ページをご確認ください。